

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大羽精研株式会社工場増築工事	階数	地上2階
建設地	愛知県豊橋市寺沢町字深沢161-1	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	247 人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,085 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年1月 予定	評価の実施日	2017年5月25日
敷地面積	26,089 m <sup>2</sup>	作成者	(株)玉井設計
建築面積	1,305 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,478 m <sup>2</sup>	確認者	(株)玉井設計



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 98%  
③上記+②以外の 98%  
④上記+ 98%

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.5

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.9

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 2.8**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.8

### 3 重点項目

#### ①地球温暖化への配慮

**3.0**

#### ③敷地内の緑化

**2.0**

外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積) **35.9 %**  
建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積) **0.0 %**

#### ②資源の有効活用

**3.3**

#### ④地域材の活用

**1.0**

<外装材に使用した地域性のある材料> なし  
<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材> なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
LR-3 1 地球温暖化への配慮  
②資源の有効活用  
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減  
③敷地内の緑化  
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部							建物全体・共用部		居住・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄			評価点	評価点	重み 係数	評価点	評価点	重み 係数	評価点	評価点	重み 係数	全体	
		<b>Q 建築物の環境品質</b>													
<b>Q1 室内環境</b>															
<b>1 音環境</b>															
1.1 室内騒音レベル															
1.2 遮音															
1 開口部遮音性能															
2 界壁遮音性能															
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)															
4 界床遮音性能(重量衝撃源)															
1.3 吸音															
<b>2 温熱環境</b>															
2.1 室温制御															
1 室温															
2 外皮性能															
3 ソーン別制御性															
2.2 湿度制御															
2.3 空調方式															
<b>3 光・視環境</b>															
3.1 昼光利用															
1 昼光率															
2 方位別開口															
3 昼光利用設備															
3.2 グレア対策															
1 昼光制御															
3.3 照度															
3.4 照明制御															
<b>4 空気質環境</b>															
4.1 発生源対策															
1 化学汚染物質															
4.2 換気															
1 換気量															
2 自然換気性能															
3 取り入れ外気への配慮															
4.3 運用管理															
1 CO <sub>2</sub> の監視															
2 喫煙の制御															
<b>Q2 サービス性能</b>														<b>3.5</b>	
<b>1 機能性</b>															
1.1 機能性・使いやすさ															
1 広さ・収納性															
2 高度情報通信設備対応															
3 バリアフリー計画															
1.2 心理性・快適性															
1 広さ感・景観 (天井高)															
2 リフレッシュスペース															
3 内装計画															
1.3 維持管理															
1 維持管理に配慮した設計															
2 維持管理用機能の確保															
<b>2 耐用性・信頼性</b>														<b>2.9</b>	
2.1 耐震・免震・制震・制振															
1 耐震性(建物のこわれにくさ)															
2 免震・制震・制振性能															
2.2 部品・部材の耐用年数															
1 躯体材料の耐用年数															
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔															
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔															
4 空調換気ダクトの更新必要間隔															
5 空調・給排水配管の更新必要間隔															
6 主要設備機器の更新必要間隔															
2.4 信頼性															
1 空調・換気設備															
2 給排水・衛生設備															
3 電気設備															
4 機械・配管支持方法															
5 通信・情報設備															
		② ガルバニウム鋼板/25年 ビニール床シート/20年			3.0	3.0	0.52								
		給水管:硬質塩化ビニル管、排水管:硬質塩化ビニル管、空調:銅管			3.7	3.0	0.19								
		防振吊り金物、または防振支持金物で行い、振れ止めを設ける			1.4	1.0	0.20								

<b>3 対応性・更新性</b>				4.1	0.48			-	4.1
3.1 空間のゆとり				4.6	0.31			-	
1 階高のゆとり			3.9m	5.0	0.60			-	
2 空間の形状・自由さ			(28+43.2)*2/(1209.6-53.49)=0.123	4.0	0.40			-	
3.2 荷重のゆとり				5.0	0.31			-	
3.3 設備の更新性				3.0	0.38			-	
1 空調配管の更新性		②		3.0	0.17			-	
2 給排水管の更新性				3.0	0.17			-	
3 電気配線の更新性				3.0	0.11			-	
4 通信配線の更新性				3.0	0.11			-	
5 設備機器の更新性				3.0	0.22			-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22			-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.57			-	2.9
1 生物環境の保全と創出		独自③		2.0	0.30			-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④	敷地内緑化計画	4.0	0.40			-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30			-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		2.0	0.50			-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50			-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>									2.8
<b>LR1 エネルギー</b>					0.40				2.6
1 建物外皮の熱負荷抑制				2.0	-			-	-
2 自然エネルギー利用				3.0	0.28			-	3.0
3 設備システムの高効率化				2.2	0.43			-	2.2
4 効率的運用				3.0	0.29			-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00			-	
4.1 モニタリング				3.0	0.50			-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50			-	
集合住宅の評価				-	-			-	
4.1 モニタリング				-	-			-	
4.2 運用管理体制				-	-			-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>					0.30				3.1
1 水資源保護				2.2	0.15			-	2.2
1.1 節水				1.0	0.40			-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60			-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67			-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33			-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.1	0.63			-	3.1
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07			-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.25			-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②		3.0	0.21			-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	合板、ビニル床シート	4.0	0.21			-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-			-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自		3.0	0.25			-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.22			-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32			-	
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.68			-	
1 消火剤				-	-			-	
2 発泡剤(断熱材等)			グラスウール	5.0	0.50			-	
3 冷媒				3.0	0.50			-	
<b>LR3 敷地外環境</b>					0.30				2.8
1 地球温暖化への配慮		①		3.0	0.33			-	3.0
2 地域環境への配慮				2.6	0.33			-	2.6
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25			-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50			-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.6	0.25			-	
1 雨水排水負荷低減		独自		-	-			-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.33			-	
3 交通負荷抑制		独自	充分な駐車スペースを有している	5.0	0.33			-	
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.33			-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33			-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40			-	
1 騒音		独自		3.0	0.50			-	
2 振動		独自		3.0	0.50			-	
3 悪臭				-	-			-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40			-	
1 風害の抑制				3.0	0.70			-	
2 砂塵の抑制				-	-			-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30			-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20			-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70			-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30			-	

**重点項目スコアシート**

大羽精研株式会社工場増築工事

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>3.0</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.0	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>3.3</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	4.1	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.1	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>2.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.17	外構緑化:35.9%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>		(評価ポイント)		<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 大羽精研株式会社工場増

計画上の配慮事項	
総合	駐車スペースを十分に設けており、利用者が利用しやすいように配慮している
Q1 室内環境	評価対象外
Q2 サービス性能	耐年数の長いものを使用している
Q3 室外環境(敷地内)	敷地内緑地計画を行っている
LR1 エネルギー	省エネ基準に適合するよう設備機器等に配慮した
LR2 資源・マテリアル	リサイクル材を使用している
LR3 敷地外環境	敷地内に十分な駐車スペースを設けている
その他	特になし